

1 学校教育目標

- (1) 思いやりのある子（徳）
- (2) よく考える子（知）
- (3) がんばる子（体）

2 学校経営方針

「何事にも挑戦し続け、笑顔にあふれ、誰もが幸せを実感できる学校づくり」

- (1) 子ども達一人一人を大切にして、認め、励まし、褒める教育を行う。
- (2) 働き方改革を促進し、教職員が心身共に健康に働ける快適な職場環境をつくる。
- (3) インクルーシブ教育を推進し、豊かな人間性を育む。
- (4) STEM 教育を研究し、論理的思考力の育成を図る。
- (5) 体育、食育、健康教育を通して健やかな体の育成を図る。
- (6) 人権教育、道徳教育、性の多様性に関する教育を進め自尊感情を高める。
- (7) 中学校や家庭との連携、地域の教育力を生かし教育効果を高める。

3 目指す学校像

【子どもたちの笑顔があふれ、家庭・地域と共に学び合う活力のある学校】

- (1) 児童の夢や希望、可能性を大事にし、最大限に伸ばす学校
 - ・子供たちが学び合い、高め合う学校
 - ・助け合い励まし合い、認め合い、支え合う学校
- (2) 安心、安全で美しい学校
 - ・危機管理意識の高い学校
 - ・花や緑にあふれる学校
 - ・美しい音楽や芸術を愛し、感性豊かな学校
- (3) 地域と共に成長する学校
 - ・子供が行きたくなる学校
 - ・保護者が通わせたくなる学校
 - ・地域に愛され、地域と共に歩み、みんなが誇りに思う学校

4 目指す児童像

【生きる力を身に付け、穏やかで心優しい児童】

- ・自分の考えを持ち、その考えをもとに子どもたち同士学び合うことができる児童
- ・健康な体づくりのために日々努力し、困難に立ち向かう児童
- ・友だちと協力し合い、助け合い、多様性を認め、思いやりがある児童

5 目指す教師像

【信頼と魅力にあふれる教師】

- (1) 教職に対する強い情熱を持つ教師 『熱意・誠意・創意』
 - ・教師の仕事に対する使命感や誇り、子どもに対する愛情や責任を持つ。
 - ・常に学び続ける向上心を持つ。
- (2) 教育の専門家としての確かな力量を持つ教師 『授業は、日々工夫改善』
 - ・「教師は授業で勝負する」といわれるように、この力量が「教育のプロ」といわれる所以である。具体的には、子どもの理解力、児童・生徒指導力、集団指導の力、学級づくりの力、学習指導・授業づくりの力、教材解釈の力などである。
- (3) 総合的な人間力を持つ教師 『教育は人なり』
 - ・教師には、子どもたちの人間形成に関わる者として、豊かな人間性や社会性、常識と教養、礼儀作法をはじめ対人関係能力、コミュニケーション能力などの人格的な資質を備えていることが求められる。また、他の教師や養護教諭、支援員、事務職員など全ての教職員と協力していくことが大切である。

6 本年度の重点

- ・ 体育、食育、健康教育を通して、児童の健やかな体の育成を図る。
- ・ 働き方改革を促進し、教職員が心身共に健康に働ける快適な職場環境をつくる。
- ・ 地域との連携を図り、ふるさと富士見（つるせ台）を愛する児童を育成する。

(1) 豊かな心の育成⇔思いやりのある子

- ・ 道徳の時間の充実（積極的な授業公開、ゲスト・ティーチャーの活用）
- ・ 縦割り活動の充実（なかよしタイム等）を図る。
- ・ 凡事徹底（あいさつ、くつのかかとそろえ、もくもく清掃）する。
- ・ 「いじめ・暴力を絶対に許さない」意識の醸成、いじめ防止基本方針の具体化を図る。
- ・ 特別支援学級との交流及び共同学習の充実を図る。通級・日本語指導の活用を図る。
- ・ 美しい音楽や芸術に触れる機会を充実させ、感性が豊かになる環境を整える。

(2) 確かな学力の育成⇔よく考える子

- ・ お互いに聴き合い、学び合う授業で子どもたちの可能性を引き出す。
（オープンスペースの有効活用、グループ学習、ペア学習、その他の学習形態の創造）
- ・ 問題解決的な学習、体験的な学習の充実を図る。
- ・ 振り返りの時間を設定し、一人一人の学びを支援する。
- ・ 情報教育、STEM教育の充実（ICT、端末の有効活用）を図る。
- ・ 家庭学習の習慣化、定着化を図る。

(3) すこやかな体の育成⇔がんばる子

- ・ 体育授業の充実（運動量の確保）→運動好きな児童の育成
- ・ 外遊びを励行する。→外遊びの日を学級で決める等、工夫して行う。
- ・ 安全な行動をとる。（廊下歩行、遊び方）→事前指導の徹底と見届けを行う。
- ・ 不登校(傾向)児童の解消→組織的な対応、初期の段階での積極的な対応をとる。
- ・ 健康教育及び食育の充実（スマホ、ネット依存症の防止、食に関する指導）を図る。